

多可町商工会経営発達支援事業の評価・検証の報告書

専門家名	上山経営研究所 中小企業診断士 上山修一
開催日時	平成 29 年 5 月 11 日 (木) 14 : 00 ~ 17 : 10
事業名	多可町商工会経営発達支援計画 検証委員会
役職等	多可町商工会経営発達支援計画 検証委員会 委員長
【評価・検証項目】 平成 28 年度上期・下期をとおしての多可町商工会経営発達支援計画についての事業評価・検証	
【評価・検証内容】 多可町商工会の平成 28 年度における経営発達支援事業について、評価・検証の結果、その事業成果を高く評価するものである。 同商工会が策定した経営発達支援計画は、各事業項目においてきわめて高い目標が設定されているにもかかわらず、その目標が達成されている。しかも各種事業の実施状況は高い次元で推進されておりその成果も顕在化している。このことは職員一同のたゆまぬ努力の結果と高く評価したい。 また、すべての項目において P D C A サイクルに基づく自主的な評価・検証がなされているだけでなく、事業者の声をしっかりと受け止め、課題や対策等について職員間で情報を共有し、ノウハウを蓄積する体制が整っていることは他所での取組みと比較しても高い評価に値すると考える。 ただ、一つ懸念されるのは、この質の高い支援体制の持続である。いわば息切れしない支援体制の持続、これが大きな課題と思われる。	
【個別事業における改善点等】 同商工会の経営発達支援事業では、従来の経営改善普及事業を更に高度化し、事業の質・量を高めながら新たな事業にも積極的に取り組んでいく事を定めており、成果を定量化できるシステムが組み込まれている。 現時点では同商工会の取組みにおいて高い推進力を維持しているが、その一方で職員がオーバーワーク状態に陥ることは懸念されるところである。事業所の支援を推進するなかで、事業所の自立、更には自律を促すような指導方法を強化するなかで、業務の効率化と負担軽減について意識して頂きたい。 また、今後本年同様に質の高い支援体制を維持するためには、役職員が知恵を出し合って、既存事業の省力化、簡素化、場合によってはスクラップすることも必要であると思われる。	